

第五次新宿区子ども読書活動推進計画 素案からの変更点一覧

第五次新宿区子ども読書活動推進計画(素案)からパブリック・コメント等を踏まえて修正を行っています。主な変更点は以下のとおりです。
なお、下記の主な変更以外にも次の変更等があります。① 軽微な文言修正や表現の変更、② 脚注の追加・変更、③ 資料編の追加等

ページ 順No.	修正箇所	素案 ページ	本計画案 ページ	修正項目・修正理由	計画素案(修正前)	計画案(修正後)
1	第2章 子どもの読書活動の推進に向けて 現状と課題、目指す方向性 2 第五次推進計画策定にあたっての留意点	P14	P14	◆教育委員会事務局による修正 〔修正理由〕 アンケートの目的を適切な表現に修正しました。	◆修正前 (3) 子ども読書活動に関するアンケート調査の結果 第五次推進計画の基礎調査としてアンケートを実施し、子どもたちの読書状況の現状を調査しました。	◆修正後 (3) 子ども読書活動に関するアンケート調査の結果 第五次推進計画を通じて、子どもが様々な本と出会う環境づくりを推進するため、子どもたちと本のふれあいの現状を調査しました。
2	第2章 子どもの読書活動の推進に向けて 現状と課題、目指す方向性 2 第五次推進計画策定にあたっての留意点	P14	P14	◆教育委員会事務局による修正 〔修正理由〕 アンケートの回答数の表記を適切にするため、「有効回答数」に統一しました。	◆修正前 ①家庭での読書状況アンケート 回収数:計134人	◆修正後 ①家庭での読書状況アンケート 有効回答数:計134人
3	第2章 子どもの読書活動の推進に向けて 現状と課題、目指す方向性 2 第五次推進計画策定にあたっての留意点	P14	P14	◆教育委員会事務局による修正 〔修正理由〕 アンケートの分析等を適切な表現に修正しました。	◆修正前 ① 家庭での読書状況アンケート 家庭での読み聞かせや図書館の利用状況を把握するため、子ども図書館内と多くの親子が来場する新宿子育てメッセの区立図書館コーナーで実施しました。 なお、未就学児等の子どもの回答は保護者が代筆したのもあります。 □□ 本が好きな子どもと大人の割合について 本が「大好き」な子どもは68.0%、大人は44.0%、「好き」な子どもは、24.0%、大人は45.2%でした。「嫌い」という回答は、子どもの1人でした。 このことから、図書館を利用している子どもや大人は、「本が大好き」又は「好き」な人の割合が高いことが分かります。	◆修正後 ① 家庭での読書状況アンケート (前段:削除) □□ 本が好きな子どもと大人の割合について 本が「大好き」な子どもは68.0%、大人は44.0%、「好き」な子どもは、24.0%、大人は45.2%でした。 アンケートを子ども図書館と新宿子育てメッセの区立図書館コーナーで実施したため、図書館を利用している子どもや大人は、本が「大好き」又は「好き」な人の割合が高い傾向が出ています。

ページ 順No.	修正箇所	素案 ページ	本計画案 ページ	修正項目・修正理由	計画素案(修正前)	計画案(修正後)
4	第2章 子どもの読書活動の推進に向けて 現状と課題、目指す方向性 2 第五次推進計画策定にあたっての留意点	P15	P15	◆教育委員会事務局による修正 〔修正理由〕 このアンケートは、区立図書館の利用頻度を質問したもので、課題分析や事業展開につながらないため、削除しました。	◆修正前 □ 区立図書館の利用状況について 区立図書館を「毎週」利用する子どもは42.0%、大人20.2%、「月に1～2回」利用する子どもは50.0%、大人59.5%となっています。 いずれも「本が大好き」「好き」という人の比率が高く、本好きな家庭は、子どもも大人も区立図書館を定期的に利用しています。 図表2-1:子ども 「としょかんを利用していますか」 図表2-2:大人 「図書館を利用していますか」	◆修正後 項目削除
5	第2章 子どもの読書活動の推進に向けて 現状と課題、目指す方向性 2 第五次推進計画策定にあたっての留意点	P15 P16	P15	◆教育委員会事務局による修正 〔修正理由〕 アンケートの分析等を適切な表現に修正しました。 また、図表2-1、2-2を削除したため、図表番号を修正しました。 図表3-3は本来、図表3-2で「本を読まない」と回答した大人の内訳ですが、別個に質問したため、回答数が一致しないため削除しました。	◆修正前 □ 家庭での読み聞かせ状況について 家の大人に「よく本を読んでもらう」子どもは60.0%(30人)、うち29人が「本が大好き」又は「好き」な子どもです。家庭で「子どもによく本を読む」大人は65.5%(55人)、うち49人が「本が大好き」又は「好き」な大人です。 また、「時々読んでもらう」子どもが28.0%(14人)、うち11人が「本が大好き」又は「好き」です。「時々読む」大人は25.0%(21人)、うち20人が「本が大好き」又は「好き」と回答しています。図書館を利用し、本が好きな大人でも、日常の忙しさ等で、なかなか読み聞かせの時間が確保できない状況が分かりました。 図表3-1:子ども「家の大人の人から本を読んでもらうことありますか」単位(件) 図表3-2:大人「家でお子さんに本を読んであげていますか」単位(件) 図表3-3:大人「家で本を読まない理由は何ですか」単位(件)	◆修正後 □ 家庭での読み聞かせ状況について 家の大人に「よく本を読んでもらう」子どもは30人(60.0%)、うち29人が「本が大好き」又は「好き」な子どもです。家庭で「子どもによく本を読む」大人は55人(65.5%)、うち49人が「本が大好き」又は「好き」な大人です。 また、「時々読んでもらう」子どもが14人(28.0%)、うち11人が「本が大好き」又は「好き」です。「時々読む」大人は21人(25.0%)、うち20人が「本が大好き」又は「好き」と回答しています。 <u>本をよく読んでもらう子どもには、本が好きな割合が高い傾向があります。</u> <u>また、本が好きな保護者であっても、子どもに本を読んだり、本について話し合う機会が十分に取れない状況もありました。</u> <u>図表2-1:子ども「お家のおとなの人から本を読んでもらうことありますか」単位(人)</u> <u>図表2-2:大人「家でお子さんに本を読んであげていますか」単位(人)</u> <u>図表3-3:大人「家で本を読まない理由は何ですか」単位(件):削除</u>

ページ 順No.	修正箇所	素案 ページ	本計画案 ページ	修正項目・修正理由	計画素案(修正前)	計画案(修正後)
6	第2章 子どもの読書活動の推進に向けて 現状と課題、目指す方向性 2 第五次推進計画策定にあたっての留意点	P17	P16	◆教育委員会事務局による修正 〔修正理由〕 アンケートの分析等を適切な表現に修正しました。 また、図表2-1、2-2を削除したため、図表番号を修正しました。	◆修正前 □ 家族と本について話し合う状況について 家族で本について「よく話をする」子どもは30.0%、「時々話をする」子どもは42.0%でした。 「よく話をする」大人は26.2%、「時々話をする」大人は46.4%で、約7割の回答者が本について家族と話す機会があり、一緒に本を読んだり、お互いに読みあったり、感想を話し合うなど、家庭で読書を楽しんでいる様子が分かりました。 一方、本好きで、図書館を利用していても、家族で本について「あまり話をしない」子どもは20.0%、大人は22.6%でした。 図表4-1 子ども「家族で本について話をしますか」単位(件) 図表4-2: 大人「家族で本について話をしますか」単位(件) 図表4-3: 大人「お子さんどのように本を楽しんでいますか」単位(件)	◆修正後 □ 家族と本について話し合う状況について <u>「よく話をする」大人は22人(26.2%)、「時々話をする」大人は39人(46.4%)で、約7割の回答者が本について家族と話す機会がありました。</u> <u>また、本の楽しみ方としては、「一緒に同じ本を読む」が56.3%、「お互いに読みあう」が19.8%、「感想を言い合う」が15.6%の順でした。</u> 図表3-1: 子ども「家族で本について話をしますか」単位(人) 図表3-2: 大人「家族で本について話をしますか」単位(人) 図表3-3: 大人「お子さんどのように本を楽しんでいますか」(複数回答可)単位(件)
7	第2章 子どもの読書活動の推進に向けて 現状と課題、目指す方向性 2 第五次推進計画策定にあたっての留意点	P18	P17	◆教育委員会事務局による修正 〔修正理由〕 「家庭での読書状況アンケート まとめ」として、標題を追記しました。 また、内容を整理し、修正しました。	◆修正前 アンケート結果からは、図書館をよく利用する家庭では、子どもと大人と一緒に読み聞かせや読書を楽しみ、一緒に本を読んだり、感想を話し合うなど工夫して、家庭で読書習慣が育まれていく様子が見られました。 一方、図書館を利用し、本好きな大人であっても、忙しさ等で読み聞かせの時間が確保できない状況もわかりました。 今後、より多くの方に区立図書館での読み聞かせや講演会等に参加していただけるよう周知や情報提供を行い、家庭での読み聞かせの普及を図ります。 また、地域、図書館、学校等との連携により、幼い段階から様々な本と出会うことができる環境づくりを推進していきます。	◆修正後 <u>【家庭での読書状況アンケートまとめ】</u> <u>アンケート結果からは、図書館をよく利用する子ども及び大人は、読み聞かせや読書を楽しみ、家庭で読書習慣が育まれていく様子が見られました。</u> <u>また、本が好きな保護者であっても、子どもに本を読んだり、本について話し合う機会が十分に取れない状況もありました。</u> <u>図書館をよく利用する子どもも、利用していない子どもも、本を好きになってもらうためには、本とふれあえる場所と機会が身近にあることが大切です。</u> <u>幼い段階から子どもが様々な本と出会うことができる環境づくりが必要です。</u>
8	第2章 子どもの読書活動の推進に向けて 現状と課題、目指す方向性 2 第五次推進計画策定にあたっての留意点	P18	P17	◆教育委員会事務局による修正 〔修正理由〕 アンケートには多数の書名の回答がありました。いずれも素案の記載のとおり、読み継がれてきた本や既に所蔵している本が多く、課題の分析や事業の展開につながらないため、項目を削除します。	◆修正前 □ 好きな本や、よく読み聞かせをする本について また、「子どもが好きな本」、「大人がよく読み聞かせをする本」は、新しい本もありますが全体として古くから読み継がれてきた本が多く、親が子どもの頃に好きだった本を子どもに読み、子どももその本を好きになっていく感じが感じられました。	◆修正後 項目削除

ページ 順No.	修正箇所	素案 ページ	本計画案 ページ	修正項目・修正理由	計画素案(修正前)	計画案(修正後)
9	第2章 子どもの読書活動の推進に向けて 現状と課題、目指す方向性 2 第五次推進計画策定にあたっての留意点	P19	P18	◆教育委員会事務局による修正 〔修正理由〕 アンケートの回答数の表記を適切にするため、「有効回答数」に統一します。	◆修正前 ②中・高校生等の読書状況アンケート 回収数:計811人	◆修正後 ②中・高校生等の読書状況アンケート <u>有効回答数:計811人</u>
10	第2章 子どもの読書活動の推進に向けて 現状と課題、目指す方向性 3 第五次推進計画策定にあたっての留意点	P19	P18	◆教育委員会事務局による修正 〔修正理由〕 アンケートの分析等を適切な表現に修正し、図表ごとに記載しました。 また、図表番号を修正しました。	◆修正前 ② 中・高校生等の読書状況アンケート <input type="checkbox"/> 中・高校生等の読書状況について 「読書が好き」が48.1%、「普通」が45.3%、「嫌い」6.7%でした。 また、「好きな本や、前に読んで印象に残った本がある」については、74.6%が「ある」と回答しました。 好きな本は、小説や若者向けのライトノベル*等のほか、学校の推薦図書も多く見られました。 *ライトノベルとは、表紙や挿絵にアニメ調のイラストを多用している若年層向けの小説をいう。「ライトノベル完全読本」日経BP社刊 図表5-1 「あなたは、読書は好きですか」単位(件) 図表5-2 「好きな本や、前に読んで印象に残った本(雑誌、マンガ、参考書、電子書籍を含む)はありますか」単位(件)	◆修正後 ② 中・高校生等の読書状況アンケート <input type="checkbox"/> 中・高校生等の読書状況について <u>読書が「好き」と答えた生徒の割合は48.1%で、「普通」は45.3%、「嫌い」が6.7%で、「普通」と「嫌い」を合わせた生徒は約半数を超える状況でした。</u> 図表4-2 「好きな本や、前に読んで印象に残った本(雑誌、マンガ、参考書、電子書籍を含む)はありますか」単位(人) <u>読書が「好き」と答えた生徒は、自分の好きな本や印象に残った本が「ある」との割合が高く、読書が「嫌い」な生徒は、「ない」と答えた割合が半数を超えていました。</u>
11	第2章 子どもの読書活動の推進に向けて 現状と課題、目指す方向性 4 第五次推進計画策定にあたっての留意点	P20	P19	◆教育委員会事務局による修正 アンケートを複数回答可としたため、母数との関係が不明確で、設問の選択肢には異なる内容を含み、正確な分析につながらないため、項目を削除します。	◆修正前 <input type="checkbox"/> 中・高校生等の「本の情報の入手先」について 本の情報の入手先(複数回答)については、1,631件の回答がありました。 そのうち、「書店」が26.5%で最も多く、次いで「インターネット」23.7%、「友人」が12.6%となっています。 一方、「学校図書館」は8.2%、「区立図書館」は6.6%となっており、図書館以外の情報源が多くなっています。 また、「本が好き」、「普通」な生徒は「学校の推薦図書リスト」や「新聞・雑誌」を挙げています。本の紹介や新聞・雑誌を活用した情報提供は、中・高校生向けの支援項目として重要です。 図表6 「本の情報をどこで手に入れますか」(複数回答可)単位(件)	◆修正後 項目削除

ページ 順No.	修正箇所	素案 ページ	本計画案 ページ	修正項目・修正理由	計画素案(修正前)	計画案(修正後)
12	第2章 子どもの 読書活動の推 進に向けて 現状と課題、目 指す方向性 5 第五次推進 計画策定にあ たっての留意点	P20 P21	P19	◆教育委員会事務局による修正 〔修正理由〕 アンケートの分析等を適切な表現に修正し、素案の図表7-3については個別項目としました。 また、図表番号を修正しました。単数回答ですが、各項目の割合をわかりやすくするため図表に%を追記しました。素案の図表7-3については個別項目とし、分けて記載しました。	◆修正前 □ 中・高校生等の「区立図書館・学校図書館の利用状況」について 今回のアンケートでは区立図書館を「毎週利用する」生徒が2.7%、「月1～2回」が5.7%、「利用したことがない」生徒が60.0%でした。 なお、図表7-3「本を読まない・読まなかった理由」を見ると、「めんどくさいから」32.5%、「受験勉強や部活で忙しい」31.4%、「興味のある本がなかった」17.8%、「読みたい本が分からない」14.7%、の順でした。 区立図書館の利用状況の理由と直結はしませんが、このような状況への対応が今後、必要です。 一方、学校図書館の利用状況は「毎週利用する」生徒が14.4%、「月1～2回」が15.4%あり、「利用したことがない」生徒は39.6%でした。中学校や高校の協力を得ながらニーズを把握し、相互に協力していく必要があります。 図表7-1「区立図書館を利用していますか」 単位(件) 図表7-2「学校図書館を利用していますか」 単位(件) 図表7-3「本を読まない・読まなかった理由は何ですか」(複数回答可) 単位(件)	◆修正後 □ 中・高校生等の「区立図書館・学校図書館の利用状況」について <u>区立図書館の利用状況は、「毎週利用する」が2.7%、「月1～2回」が5.7%で、定期的に利用している生徒は8.4%입니다。</u> <u>一方、「利用したことがない」生徒は60.0%あり、読書が「好き」でも「普通」でも約6割が「利用したことがない」と答えています。</u> <u>学校図書館の利用状況は、「毎週利用する」生徒が14.4%、「月1～2回」が15.4%あり、約3割の生徒が定期的に利用しています。一方、「利用したことがない」生徒は39.6%で、読書が「好きな生徒で約3割、「普通」な生徒でも約5割が「利用したことがない」と答えています。</u> 図表5-1「区立図書館を利用していますか」 単位(人) 図表5-2「学校図書館を利用していますか」 単位(人) 図表6「本を読まない・読まなかった理由は何ですか」(複数回答可) 単位(件)
13	第2章 子どもの 読書活動の推 進に向けて 現状と課題、目 指す方向性 5 第五次推進 計画策定にあ たっての留意点	P20 P21	P20	◆教育委員会事務局による修正 〔修正理由〕 素案の図表7-3を個別項目とし、アンケートの分析等を適切な表現に修正しました。 また、図表番号を修正するとともに、複数回答可のため、図表に各項目%を追記しました。	◆修正前 図表7-3「本を読まない・読まなかった理由は何ですか」(複数回答可) 単位(件) 図表7-3「本を読まない・読まなかった理由」を見ると、「めんどくさいから」32.5%、「受験勉強や部活で忙しい」31.4%、「興味のある本がなかった」17.8%、「読みたい本が分からない」14.7%、の順でした。	◆修正後 図表6「本を読まない・読まなかった理由は何ですか」(複数回答可) 単位(件) <u>本を読まない、読まなかった理由の割合としては、読書が「好き」と答えた生徒では「受験勉強や部活動で忙しい」が一番高く、「興味のある本がなかった」、「めんどくさいから」が同じ状況でした。</u> <u>また、「普通」と答えた生徒では、「めんどくさいから」が一番高く、「受験勉強や部活動で忙しい」、「興味のある本がなかった」の順でした。</u> <u>読書が「嫌い」と答えた生徒は「めんどくさいから」が一番高く、「読みたい本がわからない」、「受験勉強や部活動で忙しい」の順となっています。</u>

ページ 順No.	修正箇所	素案 ページ	本計画案 ページ	修正項目・修正理由	計画素案(修正前)	計画案(修正後)
14	第2章 子どもの読書活動の推進に向けて 現状と課題、目指す方向性 5 第五次推進計画策定にあたっての留意点	P22 P23	P21	◆教育委員会事務局による修正 〔修正理由〕 アンケートの分析等を適切な表現に修正しました。素案の図表8-2(分類別)は内容が重複するため、削除しました。また、図表番号を修正するとともに、複数回答可のため、図表に各項目の%を追記しました。	◆修正前 □ 「新宿区立図書館でどのような本を読みたいか」について図表8-1のジャンル別では「小説」が25.5%で最も多く、次いで「マンガ」19.0%、「ライトノベル」が10.9%、「部活や趣味の本」10.0%、「学習参考書」9.0%、「調べ学習の本や課題図書」8.8%の順でした。 図表8-1 「新宿区立図書館でどのような本があるといいですか」(ジャンル別:複数回答可)単位(件) 図表8-2 「新宿区立図書館でどのような本があるといいですか」(分類別 複数回答可)単位(件)	◆修正後 図表7「区立図書館にどのような本があるといいですか」(複数回答可)単位(件) (素案の図表8-2:分類別)削除 「区立図書館にどのような本があるといいですか」との問いでは、読書が「好き」と答えた生徒では、「小説」「マンガ」「ライトノベル」に人気がありました。 読書が「普通」と答えた生徒では、「小説」「マンガ」「部活や趣味の本」の順に人気がありました。 読書が「嫌い」と答えた生徒では、「マンガ」「小説」「部活や趣味の本」の順で人気がありました。
15	第2章 子どもの読書活動の推進に向けて 現状と課題、目指す方向性 5 第五次推進計画策定にあたっての留意点	P23	P22	◆教育委員会事務局による修正 〔修正理由〕 アンケートの分析等を適切な表現に修正し、追記しました。また、図表番号を修正するとともに、複数回答可のため、図表に各項目の%を追記しました。	◆修正前 □ 中・高校生等の「区立図書館のイベント参加」について(複数回答可) 「イチオシ本の紹介やSNS等での情報発信」が28.4%で最も多く、次いで「図書購入ワークショップ等」が25.7%、「図書館を利用した交流事業」が19.9%、「イベント企画及び参加」が13.5%でした。 図表8-3 「区立図書館のイベント参加について」複数回答	◆修正後 □ 中・高校生等の「区立図書館のイベント参加」について図表8 「区立図書館のどのようなイベントに参加したいですか」(複数回答可)単位(件) 「区立図書館のどのようなイベントに参加したいですか」との問いでは、読書が「好き」と答えた生徒の人気が一番高いイベントは、「図書購入ワークショップ等」でした。一方、「普通」及び「嫌い」と答えた生徒の一番人気の高いイベントは、「イチオシ本紹介やSNS等での情報発信」でした。
16	第2章 子どもの読書活動の推進に向けて 現状と課題、目指す方向性 5 第五次推進計画策定にあたっての留意点	P23	P22	◆教育委員会事務局による修正 〔修正理由〕 「中・高校生等の読書状況アンケート まとめ」として、標題を追記しました。また、内容を整理し、修正しました。	◆修正前 アンケートからは、中・高校生等にとって本は遠い存在でなく、書店、インターネット、友人等から本の情報を入手している状況が分かりました。それに対し、本との出会いの場としてあるはずの学校図書館や学校図書館の利用は少ないようです。 アンケートで分かった中・高校生等が読みたいと思う本のテーマや、参加してみたいイベントの結果などを事業の参考としていきます。	◆修正後 【中・高校生等の読書状況アンケート まとめ】 アンケートの結果から、区立図書館を利用したことのない生徒の割合は約6割でした。 学校図書館を利用したことのない生徒の割合と比べても、高い状況です。 一方、区立図書館を定期的に利用している生徒は8.4%で、学校図書館を定期的に利用していると答えた約3割に比べ低い状況です。 区立図書館を定期的に利用している生徒が、区立図書館は面白く役に立つものと感じてもらえるように、読みたい本の収集及び本の紹介や読書イベント等を行い、1人でも多くの生徒に区立図書館を利用してもらえるよう、施策の充実を図る必要があります。 実施に当たっては、学校図書館とも連携して取組内容を検討していきます。

ページ 順No.	修正箇所	素案 ページ	本計画案 ページ	修正項目・修正理由	計画素案(修正前)	計画案(修正後)
17	第2章 子どもの読書活動の推進に向けて 現状と課題、目指す方向性 3 今後の取組課題と第五次推進計画の方向性	P25	P24	◆パブリック・コメント意見番号20による修正 〔意見内容〕 多文化家庭の子どもへの読書支援について 多文化家庭の子どもにも楽しめる絵本など蔵書の強化。読み聞かせも多言語とかがいい。 あとは、日本語環境の子供たちにも、多文化への理解を深める入口として、図書はとて有意義と思うので、そういった切り口での本の紹介などもあるとよい、と思います。 子供たちが将来、自分のルーツを卑下したり、他国の文化をさげすんだりすることのないように。	◆修正前 ② 発達段階等に応じた読書支援の更なる推進 ○ 特別な支援を必要とする子どもたち 障害等のある子どもには、個々の状況に応じて必要な機材や資料の充実を図り、読み聞かせの工夫を行っていきます。その他にも、区内の4病院に入院している子どもへの配本サービスを継続します。 外国語を母語とする子どもには、外国語の絵本等の収集や日本語と外国語による読み聞かせ等を行い、読書に親しむことができるようにしていきます。	◆修正後 ② 発達段階等に応じた読書支援の更なる推進 ○ 特別な支援を必要とする子ども 障害等のある子どもには、個々の状況に応じて必要な機材や資料の充実を図り、読み聞かせの工夫を行っていきます。その他にも、区内の4病院に入院している子どもへの配本サービスを継続します。 外国語を母語とする子どもには、外国語絵本等の収集及び展示、日本語と外国語による読み聞かせ等を行い、読書に親しむことができるようにしていきます。
18	第3章 計画の「基本方針」と「具体的な取組の方向性」 2 3つの基本方針と3つの具体的な取組の方向性	P31	P30	◆パブリック・コメント意見番号20による修正 〔意見内容〕 多文化家庭の子どもへの読書支援について 多文化家庭の子どもにも楽しめる絵本など蔵書の強化。読み聞かせも多言語とかがいい。 あとは、日本語環境の子供たちにも、多文化への理解を深める入口として、図書はとて有意義と思うので、そういった切り口での本の紹介などもあるとよい、と思います。 子供たちが将来、自分のルーツを卑下したり、他国の文化をさげすんだりすることのないように。	◆修正前 (4) 特別な支援を必要とする子ども ② 外国語を母語とする子ども 区立図書館と学校等が連携を図りながら、外国語絵本等の資料収集・提供や、日本語と外国語による読み聞かせ等を行い、読書に親しむことができるようにします。	◆修正後 (4) 特別な支援を必要とする子ども ② 外国語を母語とする子ども 区立図書館と学校等が連携を図りながら、外国語の絵本や、様々な国や民族の文化を知る資料等の収集及び展示、日本語と外国語による読み聞かせ等を行い、読書に親しむことができるようにします。このような取組で様々な国や民族の文化への相互理解が深まるようにしていきます。
19	第3章 計画の「基本方針」と「具体的な取組の方向性」 3 数値目標の設定	P35	P35	◆教育委員会事務局による修正 〔修正理由〕 現状値の修正(素案では、「区立図書館を利用したことのある中・高校生等の割合」の算出にあたってアンケート結果における無効回答を母数から省いていたが、これを改め、割合算出の母数に含めた)及びそれに合わせた目標値修正を実施しました。 アンケートの回答数の表記を適切にするため、無効7人を除き、母数818人を有効回答数811人としました。	◆修正前 数値目標4 区立図書館を利用したことのある中・高校生等の割合の増加 現状値【参考値】 目標値(令和5年度末) 令和元年6月末 令和6年3月末 33.4% 37.0% *1 区内の中学校2校、高校3校でアンケート実施。母数818人	◆修正後 数値目標4 (表6) 区立図書館を利用したことのある中・高校生等の割合 現状値【参考値】 目標値(令和5年度) 令和元年6月末 令和6年3月 30.2% 35.0% *1 区内の中学校2校、高校3校でアンケート実施。有効回答数811人。

ページ 順No.	修正箇所	素案 ページ	本計画案 ページ	修正項目・修正理由	計画素案(修正前)	計画案(修正後)																
20	第3章 計画の「基本方針」と「具体的な取組の方向性」 3 数値目標の設定	P35	P35	◆教育委員会事務局による修正 〔修正理由〕 アンケート分析の修正に伴い、数値目標の目的を適切な内容にしました。	◆修正前 数値目標4 区立図書館を利用したことのある中・高校生等の割合の増加 今回の「中・高校生の読書状況アンケート」では「読書が嫌い」な生徒は6.5%で、読書離れというよりは、図書館以外の書店等を利用する生徒が多いことがわかりました。 そこで、書店では入手できない図書やデータベースを幅広く備えた区立図書館の魅力を中・高校生等に情報発信していきます。中・高校生向け蔵書の充実を図り、改めて読書に親しむイベントや読書に関する情報発進を企画し、区立図書館の利用促進を図ります。	◆修正後 数値目標4 区立図書館を利用したことのある中・高校生等の割合 <u>中・高校生等の読書状況アンケート*1の結果では「読書が嫌い」な生徒は6.7%でした。しかしながら、区立図書館を利用したことがある生徒は約3割に留まること、本を読まない理由として「興味のある本がなかった」、「読みたい本がわからない」生徒の割合が比較的高いことがわかりました。</u> <u>そこで、中・高校生等向けに蔵書の充実を図るとともに、様々な本の紹介・展示、読書に関するイベントを行い、区立図書館の利用促進を図るため、区立図書館を利用したことのある中・高校生等の割合を指標とします。</u>																
21	第3章 計画の「基本方針」と「具体的な取組の方向性」 3 数値目標の設定	P36	P36	◆パブリック・コメント意見番号22による修正 〔意見内容〕 数値目標5について 数値目標5「図書館サポーターの地域での読み聞かせ活動の充実」は、①読み聞かせサポーター人数の増と、②図書館以外にも地域で読み聞かせを行いたいサポーターの割合の増の2種類があります。このうち、②「読み聞かせを行いたい」は、表現が主観的です。読み聞かせの実践につながらなければ、サービスの受け手にとっては何も変わらない。数値目標を設定するのであれば、「新宿区立図書館以外で読み聞かせを行っているサポーターの人数」としてはどうか。 ◆教育委員会事務局による修正 〔修正理由〕 アンケートの回答数の表記を適切にするため、無効1人を除き、71人回収を有効回答数70人としました。	◆修正前 数値目標5 図書館以外にも地域で読み聞かせを行いたいサポーターの割合 <table border="0"> <tr> <td>現状値</td> <td>目標値</td> </tr> <tr> <td>(平成30年度)</td> <td>(令和5年度)</td> </tr> <tr> <td>令和元年8月アンケート調査</td> <td>令和5年3月末</td> </tr> <tr> <td>48.4%</td> <td>51.0%</td> </tr> </table> *「図書館サポーター活動のアンケート」 令和元年8月こども図書館で、128人に対して郵送アンケート実施。71人回収。	現状値	目標値	(平成30年度)	(令和5年度)	令和元年8月アンケート調査	令和5年3月末	48.4%	51.0%	◆修正後 数値目標5 <u>(表7)区立図書館以外の場所で読み聞かせを行ったことのある図書館サポーターの人数</u> <table border="0"> <tr> <td>現状値</td> <td>目標値</td> </tr> <tr> <td>【参考値】</td> <td>(令和5年度)</td> </tr> <tr> <td>令和元年8月アンケート調査</td> <td>令和6年3月末</td> </tr> <tr> <td>18人</td> <td>30人</td> </tr> </table> *「図書館サポーター活動のアンケート」 令和元年8月こども図書館から、 <u>図書館サポーター</u> 128人に対して郵送アンケート実施。 <u>有効回答数70人。</u>	現状値	目標値	【参考値】	(令和5年度)	令和元年8月アンケート調査	令和6年3月末	18人	30人
現状値	目標値																					
(平成30年度)	(令和5年度)																					
令和元年8月アンケート調査	令和5年3月末																					
48.4%	51.0%																					
現状値	目標値																					
【参考値】	(令和5年度)																					
令和元年8月アンケート調査	令和6年3月末																					
18人	30人																					

ページ 順No.	修正箇所	素案 ページ	本計画案 ページ	修正項目・修正理由	計画素案(修正前)	計画案(修正後)																																								
22	第3章 計画の「基本方針」と「具体的な取組の方向性」 3 数値目標の設定	P36	P36	<p>◆パブリック・コメント意見番号23による修正</p> <p>[意見内容] 数値目標5について 数値目標5について、読み聞かせを行いたいサポーターの「割合」を数値目標にするのは、適当かどうか。つまり、母体となる図書館ボランティアの総人数やアンケート回収率にも左右されるので図書館以外での読み聞かせの充実度を正確に表していない、と考えます。</p> <p>◆教育委員会事務局による修正</p> <p>[修正理由] アンケートの回答数の表記を適切にするため、無効1人を除き、71人回収を有効回答数70人としました。</p> <p>また、「図書館サポーター活動のアンケート」結果の表については、課題の分析や事業の展開につながらないため、削除します。</p>	<p>◆修正前</p> <p>図書館以外にも地域で読み聞かせを行いたいサポーターの割合</p> <table border="1"> <tr> <td>現状値 (平成30年度) 令和元年8月アンケート調査 48.4%</td> <td>目標値 (令和5年度) 令和5年3月末 51.0%</td> </tr> </table> <p>「図書館サポーター活動のアンケート」 令和元年8月こども図書館で、128人に対して郵送アンケート実施。71人回収。</p> <table border="1"> <tr> <td>図書館以外の 場所で 読み聞かせを やってみたい</td> <td>図書館以外の 場所で やりたいとは思わない</td> <td>不明</td> <td>未回答</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>62人</td> <td>8人</td> <td>1人</td> <td>57人</td> <td>128人</td> </tr> <tr> <td>48.4%</td> <td>6.3%</td> <td>0.8%</td> <td>44.5%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>図書館以外で 実施したこと はない</td> <td>図書館以外で 実施したことが ある</td> <td>図書館以外で 実施したことが はない</td> <td>図書館以外で 実施したことが ある</td> <td>不明</td> <td>未回答</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>49人</td> <td>13人</td> <td>3人</td> <td>5人</td> <td>1人</td> <td>57人</td> <td>128人</td> </tr> <tr> <td>38.3%</td> <td>10.2%</td> <td>2.3%</td> <td>3.9%</td> <td>0.8%</td> <td>44.5%</td> <td>100%</td> </tr> </table>	現状値 (平成30年度) 令和元年8月アンケート調査 48.4%	目標値 (令和5年度) 令和5年3月末 51.0%	図書館以外の 場所で 読み聞かせを やってみたい	図書館以外の 場所で やりたいとは思わない	不明	未回答	合計	62人	8人	1人	57人	128人	48.4%	6.3%	0.8%	44.5%	100%	図書館以外で 実施したこと はない	図書館以外で 実施したことが ある	図書館以外で 実施したことが はない	図書館以外で 実施したことが ある	不明	未回答	合計	49人	13人	3人	5人	1人	57人	128人	38.3%	10.2%	2.3%	3.9%	0.8%	44.5%	100%	<p>◆修正後</p> <p><u>区立図書館以外の場所</u>で読み聞かせを行ったことのある図書館サポーター人数</p> <table border="1"> <tr> <td>現状値 【参考値】 令和元年8月アンケート調査 18人</td> <td>目標値 (令和5年度) 令和6年3月末 30人</td> </tr> </table> <p>「図書館サポーター活動のアンケート」 令和元年8月こども図書館から、<u>図書館サポーター128人</u>に対して郵送アンケート実施。有効回答数70人。</p> <p>なお、「図書館サポーター活動のアンケート」では有効回答数70人のうち49人は、<u>区立図書館以外の場所</u>で読み聞かせを行ってみたいと思っても、実際には行ったことがないことも判明しています。</p> <p>今後は、こういった方々をはじめとする、読み聞かせ活動に関係のある方々に対して、図書館サポーターへの登録や読み聞かせ活動の充実を働きかけることで、<u>地域での読み聞かせ活動を行う図書館サポーターの人数を増やし、より多くの子どもたちが読み聞かせに親しむ環境を整備します。</u></p> <p>表削除</p>	現状値 【参考値】 令和元年8月アンケート調査 18人	目標値 (令和5年度) 令和6年3月末 30人
現状値 (平成30年度) 令和元年8月アンケート調査 48.4%	目標値 (令和5年度) 令和5年3月末 51.0%																																													
図書館以外の 場所で 読み聞かせを やってみたい	図書館以外の 場所で やりたいとは思わない	不明	未回答	合計																																										
62人	8人	1人	57人	128人																																										
48.4%	6.3%	0.8%	44.5%	100%																																										
図書館以外で 実施したこと はない	図書館以外で 実施したことが ある	図書館以外で 実施したことが はない	図書館以外で 実施したことが ある	不明	未回答	合計																																								
49人	13人	3人	5人	1人	57人	128人																																								
38.3%	10.2%	2.3%	3.9%	0.8%	44.5%	100%																																								
現状値 【参考値】 令和元年8月アンケート調査 18人	目標値 (令和5年度) 令和6年3月末 30人																																													

ページ 順No.	修正箇所	素案 ページ	本計画案 ページ	修正項目・修正理由	計画素案(修正前)	計画案(修正後)
23	第4章 基本目標達成に向けての具体的な取組 2 新たに展開する事業と重点施策	P39	P39	◆パブリック・コメント意見番号4による修正 [意見内容] 学校図書館の充実について 学校図書館の充実の必要性を度々強調していますが、具体的にどのような施策、方針、計画があるのか明記されていません。 学校図書館の充実には人的な投入が必要です。学校教員がすぐに行えるわけではなく、学校図書館の専門職員である学校司書の配置することが重要です。 目的は「充実」ですが、どのような方法で充実が可能なのか全く検討されていません。 新宿区における学校図書館の充実の対策・可能な方法を補足することが必要です。 例えば、「学校図書館法に基づいて、全校に学校司書の配置を進めて、学校図書館の充実を図る」とか、あるいは「現行の職員配置に加えて、さらに学校司書の配置を進める」とかといった文言によって、初めて充実を実現する方法が具体的にないかと思いません。	◆修正前 (1)「学校図書館の放課後等開放(小学校)」事業番号22 ○ 施策 学校図書館の「読書センター」機能の充実(施策4) ○ 追加理由 学習指導要領の総則では、「学校図書館を計画的に利用しその活用を図り、児童・生徒の自主的、自発的な学習活動や読書活動を充実する」としています。 その実現に向けて、小学校の学校図書館を放課後等に児童に開放し、読書活動をより一層推進するとともに、図書検索やインターネット等活用した調べ学習や自学自習ができる環境を更に整備する必要があるため、新規事業とします。	◆修正後 (1) 事業番号22 「学校図書館の放課後等開放(小学校)」 ○ 施策4 学校図書館の「読書センター」機能の充実 ○ 追加理由 学習指導要領の総則では、「学校図書館を計画的に利用しその機能活用を図り、児童・生徒の 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に生かすとともに、児童・生徒の自主的、自発的な学習活動や読書活動を充実すること 」としています。 その実現に向けて、小学校の学校図書館を放課後等に児童に開放し、読書活動をより一層推進するとともに、学校図書館検索システムやインターネット等を活用した調べ学習、自学自習ができる環境を更に整備する必要があるため、新規事業とします。 また、放課後子どもひろば及び放課後子どもひろばプラス、児童クラブとの連携を図りながら、放課後等における学校図書館の利用促進に取り組んでいきます。

ページ 順No.	修正箇所	素案 ページ	本計画案 ページ	修正項目・修正理由	計画素案(修正前)	計画案(修正後)
24	第2章 子どもの読書活動の推進に向けて 現状と課題、目指す方向性 4 第五次推進計画策定にあたっての留意点	P39	P39	◆パブリック・コメント意見番号13による修正 [意見内容] 基本方針2「乳幼児への発達段階に応じた読書支援」について 本に親しむ環境は乳幼児期に培うことが大切。保健所、産科などにも働きかけ(連携)、プレママ・プレパパ体験教室の折、絵本のもたらす子どもの感性の育ちや、心を耕し、豊かな心の持ち主に育つためにも大きな役割を果たすことを周知することが施策11「家庭での読み聞かせ等の推進」につながる。 なお、新規事業「プレママ・プレパパ・保護者への読み聞かせ会」の折に、意義を十分に伝えることが重要です。 ◆教育委員会事務局による修正 [修正理由] 事業内容を的確に表現するため、事業名を「読み聞かせ会」から「読み聞かせ講座」へ変更しました。	◆修正前 (2)「プレママ・プレパパ・保護者への読み聞かせ会の実施」事業番号35 ○ 施策 区立図書館の読み聞かせ等の充実(施策8) ○ 追加理由 東京都の計画では、乳幼児期の読書支援として、子どもが生まれる前から保護者等に乳幼児期の読書の重要性について周知や働きかけを行うとしています。 そこで、これまでの乳幼児健診での地域ボランティアの読み聞かせに加えて、専門講師による育児情報提供を兼ねた読み聞かせ会を妊娠期や乳幼児のいる保護者を対象に新規開催し、より多くの保護者が家庭での読み聞かせに親しみをもち、更なる普及を図る必要があるため、新規事業とします。	◆修正後 (2) 事業番号35「プレママ・プレパパ・保護者への読み聞かせ講座の実施」 ○ 施策8 区立図書館の読み聞かせ等の充実 ○ 追加理由 乳幼児期の読書支援として、子どもが生まれ、育児に手を取られる前から、保護者に読み聞かせや読書の重要性を周知し、働きかけを行うことが大切であるため、新規事業とします。妊娠期のご家庭(プレママ・プレパパ)や乳幼児期の保護者を対象とし、専門講師から家庭の読書の楽しさや意義を学び、本の読み方や選び方を体験することを目的とする講座を実施します。実施にあたっては、講座に参加する妊婦の健康面への配慮や、様々な関係先との連携、参加者への周知等について、その方法を十分に検討します。
25	第4章 基本目標達成に向けての具体的取組 2 新たに展開する事業と重点施策	P40	P40	◆パブリック・コメント意見番号18による修正 [意見内容] 中・高校生等向けの読書支援について 中・高校生等向けの読書支援を推進するには、中学校及び高校と区立図書館の連携を密にすること大切です。 学校司書の方から、この本は学校にはないけれど区立図書館で借りてみたら、と促してもらいたいと思います。 また、授業で扱うであろう夏目漱石などの文学作品を扱った企画や、オリンピック関係の企画等、図書館主催のイベントの紹介などもしていただけたらいいのでは、と思います。	◆修正前 [新規事業] (3)「中・高校生等向け読書イベントの実施と学校との連携」事業番号49 ○ 施策 中・高校生向け読書活動支援の充実(施策16) ○ 追加理由 ここ数年の区立図書館利用実績には、中・高校生の利用人数や貸し出し数が伸び悩む傾向があります。この傾向への対策として、学校との連携により中・高校生向け読書イベントを実施して図書館への関心の向上を図り、中学生の読書活動を支援するため、新規事業とします。	◆修正後 [新規事業] (3) 事業番号49「中・高校生等向け読書イベントの実施と学校との連携」 ○ 施策16 中・高校生等向け読書活動支援の充実 ○ 追加理由 区立図書館の利用実績は、 中・高校生等の利用が低い状況にあることから、中・高校生等への読書支援を学校と連携しながら検討していきます。また、来館のきっかけとして、中・高校生等向け読書イベントを実施し、区立図書館に様々な本や視聴覚資料があり、検索利用できることを知ってもらい、読書への興味と図書館への関心を高め、区立図書館の利用につなげるために新規事業とします。

ページ 順No.	修正箇所	素案 ページ	本計画案 ページ	修正項目・修正理由	計画素案(修正前)	計画案(修正後)
26	第4章 基本目標達成に向けての具体的取組 3 計画推進の役割分担	P41	P41	◆パブリック・コメント意見番号20による修正 [意見内容] 多文化家庭の子どもへの読書支援について 多文化家庭の子どもにも楽しめる絵本など蔵書の強化。読み聞かせも多言語とかがいい。 あとは、日本語環境の子どもたちにも、多文化への理解を深める入口として、図書はとても有意義と思うので、そういった切り口での本の紹介などもあるとよい、と思います。 子どもたちが将来、自分のルーツを卑下したり、他国の文化をさげすんだりすることのないように。	◆修正前 (2) 区立図書館 ② 区立図書館は、子どもの発達段階等に応じた読書活動支援の充実を推進します。 ○ 外国語を母語とする子どもには、外国語絵本の収集・提供や日本語と外国語の読み聞かせを行っていきます。実施に当たっては、学校等と連携して支援を工夫し、読書に親しむ機会の充実を図っていきます。	◆修正後 (2) 区立図書館 ② 区立図書館は、子どもの発達段階等に応じた読書活動支援の充実を推進します。 ○ 外国語を母語とする子どもには、 <u>外国語の絵本等の収集及び展示</u> 、日本語と外国語の読み聞かせを行っていきます。 実施に当たっては、学校等と連携して支援を工夫し、読書に親しむ機会の充実を図っていきます。 <u>また、様々な国や民族の文化に関する資料の展示や紹介を行い、相互理解が深まるよう図ります。</u>
27	第4章 基本目標達成に向けての具体的取組 3 計画推進の役割分担	P42	P41 ～ P42	◆教育委員会事務局による修正 [修正理由] 第1章「子どもの読書の意義」に記載した「従来の紙の本による『読書』に加えて、(インターネット等)情報通信手段の特徴を生かして読書を楽しみ、情報リテラシーを身に付け、正しい情報を的確に選択して活用できるようになる」に対する具体的な施策を追記します。	◆修正前 第4章 基本目標達成に向けての具体的取組 3 「計画推進の役割分担」 (2)区立図書館 ② 区立図書館は、子どもの発達段階等に応じた読書活動支援の充実を推進します。 ○ 読書に興味を持つ様々なイベントや、子どもたち自身が好きな本を紹介し合うなど、子どもたちが幅広い分野の本と出会い、自ら読書活動の中心となるような取組を推進し、読む本のジャンルを広げ、読書習慣の醸成につなげます。	◆修正後 第4章 基本目標達成に向けての具体的取組 3 「計画推進の役割分担」 (2)区立図書館 ② 区立図書館は、子どもの発達段階等に応じた読書活動支援の充実を推進します。 ○ 読書に興味を持つ様々なイベントや、子どもたち自身が好きな本を紹介し合うなど、自ら読書活動の中心となるような取組を推進し、読書習慣の醸成を図ります。 ○ <u>区立図書館おすすめの本や人気の本をホームページで紹介し、子どもたちが様々な分野の本と出会い、読書を楽しむことができるようにします。</u> ○ <u>インターネットを活用した調べ学習や情報リテラシーを学ぶ講座を開催します。</u>

ページ 順No.	修正箇所	素案 ページ	本計画案 ページ	修正項目・修正理由	計画素案(修正前)	計画案(修正後)
28	第4章 基本目標達成に向けての具体的取組 3 計画推進の役割分担	P42	P42	◆パブリック・コメント意見番号6による修正 〔意見内容〕 学校と区立図書館との連携推進について 中央図書館としてどのように学校図書館の充実を図っていくのかも書かれていません。これでは単なる努力目標に過ぎず、学校図書館の実際の充実にはつながりません。そして、さらに学校司書と公立図書館司書との連携を強化して子どもの読書活動を推進することが新宿区に必要な計画です。	◆修正前 (2) 区立図書館 ③ 学校や幼稚園・保育園・子ども園、子育て関係施設と連携して計画を推進します。 ○ 読み聞かせのやり方や読書の大切さを保護者に周知する講座を行い、家庭読書の推進を図ります。 ○ 団体貸出を充実し、区立図書館の資料を学校の授業や身近な施設でより一層利用できるようにしていきます。 ○ 図書館サポーターによる、地域での読み聞かせ活動の充実を図ります。(以下略)	◆修正後 (2) 区立図書館 ③ <u>区立図書館が</u> 、学校や幼稚園・保育園・子ども園、子育て関係施設と連携して計画を推進します。 ○ 読み聞かせの <u>仕方</u> や読書の大切さを保護者に周知する講座を行い、家庭読書の推進を図ります。 <u>○ 学校等に区立図書館資料の団体貸出を行い、学校の授業や身近な施設で利用できるようにしていきます。</u> <u>○ 引き続き、地域図書館では学校の要望に応じて調べ学習講座等を行います。講座では、本を活用して情報を選択し、レポートにまとめる支援を行います。</u> <u>また、高学年の児童に低学年の児童への読み聞かせの方法を教える講座を開催するなど、学校の要望に応じた読書支援を検討し、学校と連携して取組を推進します。</u> <u>○ 区立図書館が学校との意見交換会や会議を通じて、学校の意見を参考に団体貸出資料の内容や読書支援を検討するなど、相互の連携を深めます。</u> ○ 図書館サポーターによる、地域での読み聞かせ活動の充実を図ります。(以下略)
29	第4章 基本目標達成に向けての具体的取組 3 計画推進の役割分担	P42	P42 ～ P43	◆パブリック・コメント意見番号4による修正 〔意見内容〕 学校図書館の充実について 学校図書館の充実の必要性を度々強調していますが、具体的にどのような施策、方針、計画があるのか明記されていません。 学校図書館の充実には人的な投入が必要です。学校教員がすぐにはできないのではなく、学校図書館の専門職員である学校司書を配置することが重要です。目的は「充実」ですが、どのような方法で充実が可能なのか全く検討されていません。 新宿区における学校図書館の充実の対策・可能な方法を補足する必要があります。 例えば、「学校図書館法に基づいて、全校に学校司書の配置を進めて、学校図書館の充実を図る」とか、あるいは「現行の職員配置に加えて、さらに学校司書の配置を進める」とかといった文言によって、初めて充実を実現する方法が具体的にないのでないかと思えます。	◆修正前 (3) 区立学校(学校図書館) ①(省略) ② 学校図書館法の「学校の教育課程の展開に寄与する」「児童又は生徒の健全な教養を育成する」という2つの目的に鑑み、学校図書館の「読書センター」、「学習センター」、「情報センター」機能の充実を図り、言語能力の向上や「目的を持った読書」に導いていくことも大切です。	◆修正後 (3) 区立学校(学校図書館) ①(省略) ② 学校図書館法の「学校の教育課程の展開に寄与する」「児童又は生徒の健全な教養を育成する」という2つの目的に鑑み、学校図書館の「読書センター」、「学習センター」、「情報センター」機能の充実を図り、言語能力の向上や「目的を持った読書」に導いていくことも大切です。 <u>○ 学校図書館の蔵書の計画的更新とともに、区立図書館との連携を図りながら、団体貸出を効果的に活用していきます。</u> <u>また、児童・生徒のニーズの反映するための仕組みを構築するとともに、選書に主体的に参加する仕組みについても検討し、学校図書館の充実を図ります。</u> <u>○ 放課後子どもひろば及び放課後子どもひろばプラス、学童クラブとの連携を図りながら、放課後等における子どもの読書活動の推進に取り組んでいきます。</u>

ページ 順No.	修正箇所	素案 ページ	本計画案 ページ	修正項目・修正理由	計画素案(修正前)	計画案(修正後)
30	第4章 基本目標達成に向けての具体的取組 3 計画推進の役割分担	P42	P43	◆パブリック・コメント意見番号4による修正 [意見内容] 学校図書館の充実について 学校図書館の充実の必要性を度々強調していますが、具体的にどのような施策、方針、計画があるのか明記されていません。 学校図書館の充実には人的な投入が必要です。学校教員がすぐにできるわけではなく、学校図書館の専門職員である学校司書を配置することが重要です。 目的は「充実」ですが、どのような方法で充実が可能なかが全く検討されていません。 新宿区における学校図書館の充実の対策・可能な方法を補足することが必要です。 例えば、「学校図書館法に基づいて、全校に学校司書の配置を進めて、学校図書館の充実を図る」とか、あるいは「現行の職員配置に加えて、さらに学校司書の配置を進める」とかといった文言によって、初めて充実を実現する方法が具体的になるのではないかと思います。	◆修正前 (3) 区立学校(学校図書館) ③ 学習指導要領の改訂を踏まえ、学校図書館を教科で計画的に活用することで、学習への興味や関心を引き起こし、主体的・対話的で深い学びを支援していくことも大切な役割です。 また、区立図書館と連携し、特別な支援を必要とする子どもたちに個々の状況に応じた読書支援を行っていく役割があります。	◆修正後 (3) 区立学校(学校図書館) ③ 学習指導要領の改訂を踏まえ、学校図書館を教科で計画的に活用することで、学習への興味や関心を引き起こし、主体的・対話的で深い学びを支援していくことも 学校図書館の大切な役割です。学校図書館支援員と各校で定期的に行っている学校図書館の「作業計画会議」等で、年間の指導計画等の共有を図りながら、単元や授業の内容に関連した図書展示等の充実をより一層進めるなど、学校図書館の活用を検討します。 また、区立図書館と連携し、特別な支援を必要とする子どもたちに個々の状況に応じた読書支援を行っていく役割があります。
31	第4章 体系図④	P46	P44 P45	◆教育委員会事務局による修正 [修正理由] 事業内容を的確に表現するため、事業名を「読み聞かせ会」から「読み聞かせ講座」へ変更しました。	◆修正前 施策7及び施策8、施策11の事業名 35[新規]ブレママ・ブレババ・保護者への読み聞かせ会の実施	◆修正後 施策7及び施策8、施策11の事業名 35 ブレママ・ブレババ・保護者への読み聞かせ 講座 の実施[新規]

ページ 順No.	修正箇所	素案 ページ	本計画案 ページ	修正項目・修正理由	計画素案(修正前)	計画案(修正後)
32	第4章 体系図④	P46	P47	◆パブリック・コメント意見番号22による修正 〔意見内容〕 数値目標5について 数値目標5「図書館サポーターの地域での読み聞かせ活動の充実」は、①読み聞かせサポーター人数の増と、②図書館以外にも地域で読み聞かせを行いたいサポーターの割合の増の2種類があります。このうち、②「読み聞かせを行いたい」は、表現が主観的です。読み聞かせの実践につながらなければ、サービスの受け手にとっては何も変わらない。数値目標を設定するのであれば、「新宿区立図書館以外で読み聞かせを行っているサポーターの人数」としてはどうでしょうか。	◆修正前 体系図③【数値目標】 図書館以外にも地域で読み聞かせを行いたいサポーターの割合 48.4%→51.0%	◆修正後 体系図③【数値目標】 <u>区立図書館以外の場所で読み聞かせを行ったことのある図書館サポーター人数 18人→ 30人</u>
33	第4章 体系図④	P46	P47	◆パブリック・コメント意見番号23による修正 〔意見内容〕 数値目標5について 数値目標5で、読み聞かせを行いたいサポーターの「割合」を数値目標にするのは、適切かどうか。 つまり、母体となる図書館ボランティアの総人数やアンケート回収率にも左右されるので図書館以外での読み聞かせの充実度を正確に表していない、と考えます。	◆修正前 図書館以外にも地域で読み聞かせを行いたいサポーターの割合 48.4%→51.0%	◆修正後 <u>区立図書館以外の場所で読み聞かせを行ったことのある図書館サポーター人数 18人→ 30人</u>
34	第4章 基本目標達成に向けての具体的取組 4 体系に基づいた具体的取組	P47	P48	◆教育委員会事務局による修正 〔修正理由〕 P3 「子どもの読書活動の意義」に記載した「インターネット等の特徴を活かして読書を楽しみ、情報リテラシーを身に付け、正しい情報を的確に選択して活用する」に対する具体的な施策を追記します。	◆修正前 事業番号1 魅力ある蔵書と図書館内環境の整備 〔期間中の目標〕 引き続き、子どもたちが多くの本と出会うことができるよう、蔵書を充実します。 また、館内の環境整備を推進し、子どもたちが一層使いやすく、親しまれる図書館を目指します。	◆修正後 事業番号1 魅力ある蔵書と図書館内環境の整備 〔期間中の目標〕 <u>子どもが多くの本と出会うよう蔵書を充実し、資料相談に応じます。様々な資料の紹介・提供を通じ、子どもがインターネット等を活用し、情報選択能力や情報リテラシーを身に付けられるようにします。</u> また、 <u>図書館内の環境整備を推進し、子どもが一層使いやすく、親しまれる図書館を目指します。</u>
35	第4章 基本目標達成に向けての具体的取組 4 体系に基づいた具体的取組	P49	P50	◆教育委員会事務局による修正 〔修正理由〕 P3 「子どもの読書活動の意義」に記載した「インターネット等の特徴を活かして読書を楽しみ、情報リテラシーを身に付け、正しい情報を的確に選択して活用する」に対する具体的な施策を追記します。	◆修正前 事業番号10 子ども向け行事の開催 〔事業内容〕 工作会、科学あそび、映画会、人形劇会ほか子ども向け行事の内容の充実を図り、図書館に来館する機会や利用を推進します。	◆修正後 事業番号10 子ども向け行事の開催 〔事業内容〕 工作会、科学あそび、映画会、人形劇会、 <u>インターネット等を活用した調べ学習や情報リテラシー講座等、楽しく参加し図書館や読書に親しむ行事を開催します。</u>

ページ 順No.	修正箇所	素案 ページ	本計画案 ページ	修正項目・修正理由	計画素案(修正前)	計画案(修正後)
36	第4章 基本目標達成に向けての具体的取組 4 体系に基づいた具体的取組	P49	P50	◆パブリック・コメント意見番号6による修正 [意見内容] 学校と区立図書館との連携推進について 中央図書館としてどのように学校図書館の充実を図っていくのかも書かれていません。 これでは単なる努力目標に過ぎず、学校図書館の実際の充実にはつながりません。 そして、さらに学校司書と公立図書館司書との連携を強化して子どもの読書活動を推進することが新宿区に必要な計画です。	◆修正前 事業番号11 学校と区立図書館との連携推進 [期間中の目標] 引き続き、学校への団体貸出や学校との交流事業、学校図書館との会議等により連携を図ります。	◆修正後 事業番号11 学校と区立図書館との連携推進 [期間中の目標] <u>区立図書館と学校、学校図書館との意見交換を通じて、学校の意見を参考に学校への読書支援を検討し、相互の連携を推進します。</u>
37	第4章 基本目標達成に向けての具体的取組 4 体系に基づいた具体的取組	P51	P52	◆パブリック・コメント意見番号5による修正 [意見内容] 学校図書館の充実について 地域協働学校や保護者(幼稚園・保育園・小学生)の力を十分生かし、読書活動環境を充実させる。 それには、読み聞かせ・ブックトーク等の技法を学ぶ会を定期的実施し、支援することが望まれる。	◆修正前 事業番号16 学校図書館の運営の充実 [事業内容] 子どもが進んで学校図書館を利用し、活用できるよう、司書等の資格を持つ図書館スタッフを配置します。 また、保護者や学校ボランティア等と連携を図り、学校図書館運営の充実に努めます。 [期間中の目標] 各校に配置している学校図書館支援員等による専門的な支援や学校ボランティア等との連携により、引き続き、学校図書館運営の充実に努めます。	◆修正後 事業番号16 学校図書館の運営の充実 [事業内容] 子どもが進んで学校図書館を利用し、活用できるよう、司書等の資格を持つ図書館スタッフを配置します。 また、保護者や <u>地域協働学校の支援部</u> などの学校ボランティア等と <u>連携して</u> 、学校図書館運営の充実に努めます。 <u>具体的には、区立図書館との連携による保護者や地域の方を対象とした読み聞かせボランティアの養成講座の開催や各校で独自に行っている図書館支援関係の研修会への講師の紹介などを地域協働学校と協働して推進していきます。</u> [期間中の目標] <u>学校図書館担当教員等との連携を図りながら、授業の内容に関連した図書展示等の充実に努めます。</u> <u>また、各校に配置している学校図書館支援員等による専門的な支援や地域協働学校の支援部などの学校ボランティア等との連携により、学校図書館運営の充実に努めます。</u>

ページ 順No.	修正箇所	素案 ページ	本計画案 ページ	修正項目・修正理由	計画素案(修正前)	計画案(修正後)
38	第4章 基本目標達成に向けての具体的取組 4 体系に基づいた具体的取組	P51	P52	◆パブリック・コメント意見番号4による修正 〔意見内容〕 学校図書館の充実について 学校図書館の充実の必要性を度々強調していますが、具体的にどのような施策、方針、計画があるのか明記されていません。 学校図書館の充実には人的な投入が必要です。学校教員がすぐにはできないのではなく、学校図書館の専門職員である学校司書を配置することが重要です。 目的は「充実」ですが、どのような方法で充実が可能なのかが全く検討されていません。 新宿区における学校図書館の充実の対策・可能な方法を補足することが必要です。 例えば、「学校図書館法に基づいて、全校に学校司書の配置を進めて、学校図書館の充実を図る」とか、あるいは「現行の職員配置に加えて、さらに学校司書の配置を進める」とかといった文言によって、初めて充実を実現する方法が具体的になるのではないかと思います。	◆修正前 事業番号18 学校図書館の蔵書の充実 〔事業内容〕 学校図書館において、魅力ある図書や教科に直結した調べ学習に必要な資料の充実を図ります。 また、蔵書は計画的に更新していきます。 〔期間中の目標〕 各校の学校図書館図書標準数に対し、毎年、計画的に7%程度の学校図書を更新していきます。	◆修正後 事業番号18 学校図書館の蔵書の充実 〔事業内容〕 学校図書館において、魅力ある図書や教科に直結した調べ学習に必要な資料の充実を図ります。 <u>蔵書を計画的に更新するとともに、区立図書館と連携し、配本サービスを活用します。</u> <u>また、児童・生徒のニーズの反映を図るため、児童・生徒が選書に参加する仕組みづくりについても検討します。</u> 〔期間中の目標〕 各校の学校図書館図書標準数に対し、毎年、計画的に7%程度の学校図書を更新していきます。 <u>また、区立図書館との連携を図りながら、区立図書館の配本サービスを効果的に活用していきます。</u> <u>さらに、児童・生徒のニーズ等を把握し、蔵書に反映する仕組みを検討します。</u>
39	第4章 基本目標達成に向けての具体的取組 4 体系に基づいた具体的取組	P52	P53	◆パブリック・コメント意見番号4による修正 〔意見内容〕 学校図書館の充実について 学校図書館の充実の必要性を度々強調していますが、具体的にどのような施策、方針、計画があるのか明記されていません。 学校図書館の充実には人的な投入が必要です。学校教員がすぐにはできないのではなく、学校図書館の専門職員である学校司書を配置することが重要です。 目的は「充実」ですが、どのような方法で充実が可能なのかが全く検討されていません。 新宿区における学校図書館の充実の対策・可能な方法を補足することが必要です。 例えば、「学校図書館法に基づいて、全校に学校司書の配置を進めて、学校図書館の充実を図る」とか、あるいは「現行の職員配置に加えて、さらに学校司書の配置を進める」とかといった文言によって、初めて充実を実現する方法が具体的になるのではないかと思います。	◆修正前 事業番号19 校内読書環境の整備 〔期間中の目標〕 各校に配置している学校図書館支援員等の専門的支援により、子どもの読書活動の充実につながっているため、引き続き支援を行い、学校図書館の放課後等開放を小学校全29校で実施し、放課後等に自学自習や調べ学習が可能となる環境の充実を図ります。	◆修正後 事業番号19 校内読書環境の整備 〔期間中の目標〕 各校に配置している学校図書館支援員等が子どもの <u>年齢や発達段階等に応じたレファレンスや読書相談などの専門的支援を行います。</u> <u>また、学校図書館支援員と図書館担当教員が連携して、単元や授業の内容に関連した図書展示等の充実を図るなど、読書環境の向上を検討します。</u> <u>さらに、学校図書館の放課後等開放を小学校全29校で実施し、放課後子どもひろばや放課後子どもひろばプラス、学童クラブと連携を図りながら、放課後等に自学自習や調べ学習ができる環境の充実を図ります。</u>

ページ 順No.	修正箇所	素案 ページ	本計画案 ページ	修正項目・修正理由	計画素案(修正前)	計画案(修正後)
40	第4章 基本目標達成に向けての具体的取組 4 体系に基づいた具体的取組	P53	P54	◆パブリック・コメント意見番号4による修正 〔意見内容〕 学校図書館の充実について 学校図書館の充実の必要性を度々強調していますが、具体的にどのような施策、方針、計画があるのか明記されていません。 学校図書館の充実には人的な投入が必要です。学校教員がすぐにできるわけではなく、学校図書館の専門職員である学校司書を配置することが重要です。 目的は「充実」ですが、どのような方法で充実が可能なのか全く検討されていません。 新宿区における学校図書館の充実の対策・可能な方法を補足することが必要です。 例えば、「学校図書館法に基づいて、全校に学校司書の配置を進めて、学校図書館の充実を図る」とか、あるいは「現行の職員配置に加えて、さらに学校司書の配置を進める」とかといった文言によって、初めて充実を実現する方法が具体的になるのではないかと思います。	◆修正前 事業番号22 学校図書館の放課後等開放(小学校) 〔期間中の目標〕 引き続き、学校図書館の放課後等開放を小学校全29校で実施し、放課後等に自学自習や調べ学習が可能となる環境の充実を図ります。	◆修正後 事業番号22 学校図書館の放課後等開放(小学校) 〔期間中の目標〕 学校図書館の放課後開放を小学校全29校で実施し、放課後等に自学自習や調べ学習が可能となる環境の充実を図ります。 また、放課後子どもひろば及び放課後子どもひろばプラス、児童クラブとの連携を図りながら、放課後等における学校図書館の利用促進に取り組んでいきます。
41	第4章 基本目標達成に向けての具体的取組 4 体系に基づいた具体的取組	P56 P60	P57 P62	◆教育委員会事務局による修正 〔修正理由〕 事業内容を的確に表現するため、事業名を「読み聞かせ会」から「読み聞かせ講座」へ変更しました。	◆修正前 35〔再掲〕プレママ・プレパパ・保護者への読み聞かせ会【新規】	◆修正後 35 プレママ・プレパパ・保護者への読み聞かせ 講座の実施【新規】

ページ 順No.	修正箇所	素案 ページ	本計画案 ページ	修正項目・修正理由	計画素案(修正前)	計画案(修正後)
42	第4章 基本目標達成に向けての具体的取組 4 体系に基づいた具体的取組	P58	P59	◆パブリック・コメント意見番号13による修正 〔意見内容〕 基本方針2「乳幼児への発達段階に応じた読書支援」について 本に親しむ環境は乳幼児期に培うことが大切。保健所、産科などにも働きかけ(連携)、プレママ・プレパパ体験教室の折、絵本のもたらす子どもの感性の育ちや、心を耕し、豊かな心の持ち主に育つためにも大きな役割を果たすことを周知することが施策11「家庭での読み聞かせ等の推進」につながる。 なお、新規事業「プレママ・プレパパ・保護者への読み聞かせ会」の折に、意義を十分に伝えることが重要です。 ◆教育委員会事務局による修正 〔修正理由〕 事業内容を的確に表現するため、事業名を「読み聞かせ会」から「読み聞かせ講座」へ変更しました。	◆修正前 事業番号35 プレママ・プレパパ・保護者への読み聞かせ会 〔事業内容〕 妊娠期(プレママ・プレパパ)や乳幼児を持つ保護者向けに、子育てに関する専門講師による読み聞かせ会を開催し、家庭読書の醸成に役立てます。 〔期間中の目標〕 妊娠期や乳幼児期から読み聞かせに親しむことができるよう新規実施します。家庭での読み聞かせの普及を図ります。	◆修正後 事業番号35 プレママ・プレパパ・保護者への読み聞かせ講座の実施 〔事業内容〕 妊娠期のご家庭(プレママ・プレパパ)や乳幼児期の保護者を対象とし、専門講師から家庭の読書の楽しさや意義を学び、本の読み方や選び方を体験することを目的とする講座を実施します。 実施にあたっては、講座に参加する妊婦の健康面への配慮や、様々な関係先との連携、参加者への周知等について、その方法を十分に検討します。 〔期間中の目標〕 子どもが生まれ、育児に手を取られる前から、保護者に幼い頃からの読書が子どもの成長に果たす意義を周知していきます。
43	第4章 基本目標達成に向けての具体的取組 4 体系に基づいた具体的取組	P64	P66	◆パブリック・コメント意見番号16による修正 〔意見内容〕 中・高校生等への読書支援の充実について 数値目標4「区立図書館を利用したことのある中・高校生割合の増加」を目指すにあたって、アンケート結果では、中・高校生等は本は好きであるにもかかわらず、図書館利用は急激に減っています。その理由として、読みたい本がない、忙しい、ということが挙げられています。 このことについて、子どもの発達に応じた本の提供という点においても、児童書はもう読まないが、大人の文学哲学や小説はまだ難しいと感じる中・高校生が、映画の小説本や芸能人の自伝的なものや今話題のワード等に惹かれて本を手取るのではないのでしょうか。 ライトノベルや文学的要素のあるマンガなどのさらなる充実によっても、中高校生の本離れを防ぐことにつながるのではないのでしょうか。	◆修正前 事業番号48 中・高校生等向け読書環境の充実 〔事業内容〕 読書から遠ざかりがちな中学生・高校生を対象とした中高生コーナーの利用促進を図ります。 〔期間中の目標〕 「中・高校生等向け読書支援の充実アンケート」で人気のあった本や、進学や部活動、課題の解決につながる本の提供を図ります。	◆修正後 事業番号48 中・高校生等向け読書環境の充実 〔事業内容〕 中・高校生等の読みたい本や必要とする蔵書の充実を図ります。 また学校司書等との意見交換や、中・高校生等向けのイベント参加者のアンケートなどを通じてニーズを把握し、中・高校生等向け読書環境の充実に取り組みます。 〔期間中の目標〕 学校やイベント参加者の声等を参考に、中・高校生等が読みたい本や必要とする本を取り揃え、中・高校生等の区立図書館利用につなげていきます。

ページ 順No.	修正箇所	素案 ページ	本計画案 ページ	修正項目・修正理由	計画素案(修正前)	計画案(修正後)
44	第4章 基本目標達成に向けての具体的取組 4 体系に基づいた具体的取組	P64	P66	◆パブリック・コメント意見番号18による修正 [意見内容] 中・高校生等向けの読書支援について 中・高校生等向けの読書支援を推進するには、中学校及び高校と区立図書館の連携を密にすること大切です。 学校司書の方から、この本は学校にはないけれど区立図書館で借りてみたら、と促してもらおうと思います。 また、授業で扱うであろう夏目漱石などの文学作品を扱った企画や、オリンピック関係の企画等、図書館主催のイベントの紹介などもしていただけたらいいのでは、と思います。	◆修正前 事業番号49 中・高校生等向け読書イベントの実施と学校との連携 [事業内容] 学校と連携して中・高校生向け読書イベントを行い、中・高校生の図書館利用の促進を図ります。 [期間中の目標] 初年度は、中学校や高校との連携を図りながら、効果的な実施方法を検討します。イベント参加者の声等を参考にして、中・高校生の図書館利用につなげていきます。	◆修正後 事業番号49 中・高校生等向け読書イベントの実施と学校との連携 [事業内容] <u>中・高校生等への読書支援を学校と連携しながら検討していきます。区立図書館では様々な本や雑誌、視聴覚資料等を取り揃え、気軽に利用できる魅力を知ってもらい、来館のきっかけとするために中・高校生等向け読書イベントを実施します。</u> [期間中の目標] <u>学校やイベント参加者の声等を参考に、中学校や高校と連携して、中・高校生等向け読書イベントを実施し、区立図書館利用につなげていきます。</u>
45	第4章 基本目標達成に向けての具体的取組 4 体系に基づいた具体的取組	P66	P68	◆パブリック・コメント意見番号20による修正 [意見内容] 多文化家庭の子どもへの読書支援について 多文化家庭の子どもにも楽しめる絵本など蔵書の強化。読み聞かせも多言語とかがいい。 あとは、日本語環境の子供たちにも、多文化への理解を深める入口として、図書はとても有意義と思うので、そういった切り口での本の紹介などもあるとよい、と思います。 子供たちが将来、自分のルーツを卑下したり、他国の文化をさげすんだりすることのないように。	◆修正前 事業番号53 外国語と多文化に親しむお話し会等と外国語図書の充実 [事業内容] 外国語を母語とする子どもには、日本語と母語に親しむことができるよう、外国語絵本の収集・提供や日本語と外国語の読み聞かせを行っていきます。 実施に当たっては、学校等と連携して読み聞かせ等を工夫し、読書に親しむことができるようにします。 また、子どもたちが外国語や多文化に親しむ機会を充実に図ります。	◆修正後 事業番号53 外国語と多文化に親しむお話し会等と外国語図書の充実 [事業内容] <u>外国語を母語とする子どもに、日本語と母語に親しむことができるよう、外国語絵本の収集・提供や学校等と連携して日本語と外国語の読み聞かせ等を工夫しています。</u> <u>また、外国語の絵本や、様々な国や民族の文化を知る図書の紹介・展示を実施します。</u>

ページ 順No.	修正箇所	素案 ページ	本計画案 ページ	修正項目・修正理由	計画素案(修正前)	計画案(修正後)
46	第4章 基本目標達成に向けての具体的取組 4 体系に基づいた具体的取組	P70	P72	◆教育委員会事務局による修正 〔修正理由〕 P3「子どもの読書活動の意義」に記載した「インターネット等の特徴を活かして読書を楽しみ、情報リテラシーを身に付け、正しい情報を的確に選択して活用する」に対する具体的な施策を追記します。	◆修正前 事業番号61 ホームページの充実による情報収集・発信 〔事業内容〕 図書館ホームページを活用して、子どもの読書活動や関連イベント等に関する情報をわかりやすく収集・発信して、計画の推進と普及に役立てます。 〔期間中の目標〕 初年度は事業方法を検討し、国や関係機関のホームページとのリンク等を図ります。 図書館システムのメンテナンス等の際に充実を図ります。	◆修正後 事業番号61 ホームページの充実による情報収集・発信 〔事業内容〕 <u>ホームページ上で区立図書館おすすめの本等を紹介し、子どもが本と出会う機会を設けます。</u> また、読書活動や関連イベント等に関する情報をわかりやすく収集・発信して、計画の推進と普及に役立てます。 〔期間中の目標〕 定期的に <u>子どもの本の紹介特集を行うとともに</u> 、国や関係機関のホームページとのリンク等を図ります。
47	資料編 資料2	P83	P83	◆教育委員会事務局による修正 〔修正理由〕 アンケートの回答数の表記を適切にするため、「有効回答数」に統一しました。	◆修正前 ①家庭での読書状況アンケート 回収数:計134人	◆修正後 <u>(1)家庭での読書状況アンケート</u> <u>有効回答数:計134人</u>
48	資料編 資料2	P88	P89	◆教育委員会事務局による修正 〔修正理由〕 アンケートの回答数の表記を適切にするため、「有効回答数」に統一します。	◆修正前 ②中・高校生等の読書状況アンケート 回収数:計811人	◆修正前 <u>(2)中・高校生等の読書状況アンケート</u> <u>有効回答数:計811人</u>
49	概要版	裏面	裏面	◆教育委員会事務局による修正 〔修正理由〕 事業内容を的確に表現するため、事業名を「読み聞かせ会」から「読み聞かせ講座」へ変更しました。	◆修正前 施策8 区立図書館の読み聞かせ等の充実 ★新規事業「プレママ・プレパパ・保護者への読み聞かせ会の実施」を追加	◆修正後 施策8 区立図書館の読み聞かせ等の充実 ★新規事業「プレママ・プレパパ・保護者への読み聞かせ <u>講座</u> の実施」を追加

ページ 順No.	修正箇所	素案 ページ	本計画案 ページ	修正項目・修正理由	計画素案(修正前)	計画案(修正後)
50	概要版	裏面	裏面	◆教育委員会事務局による修正 〔修正理由〕 アンケートの回答数に関する表記を「有効回答数」に統一し、無回答の数値を入れたため、数値目標4の現状値が変動し、修正しました。	◆修正前 数値目標4 区立図書館を利用したことのある中・高校生等の割合の増加33.4%【参考値】→37.0% * 区内の中学校2校、高校3校でアンケート実施。母数818人。 区立図書館の貸出冊数では、中・高校生が読書離れているように見えるが、アンケートでの「本嫌い」は6.5%であり、書店等で購入し読書している生徒が多い。一方、区立図書館では、新刊本以外にも書店では購入できない古い本や視聴覚資料、学習に役立つ最新のデータベースも体系的に幅広く提供している。このような区立図書館の魅力を多くの中・高校生等に周知し、改めて読書の楽しさを知るきっかけとなるようなイベントを行うとともに、蔵書を充実し、区立図書館の利用促進を図る。	◆修正後 数値目標4 区立図書館を利用したことのある中・高校生等の割合 30.2%【参考値】→35.0% * 区内の中学校2校、高校3校でアンケート実施。有効回答数811人。 今回の「中・高校生の読書状況アンケート」では「読書が嫌いな生徒は6.5%であった。しかしながら、区立図書館を利用したことがある生徒は約3割に留まること、本を読まない理由として「興味のある本がなかった」、「読みたい本がわからない」生徒の割合が比較的高い傾向がある。 そこで、中・高校生等向けに蔵書の充実を図るとともに、様々な本の紹介や展示や読書に関するイベントを行い、区立図書館の利用促進を図っていく。
51	概要版	裏面	裏面	◆パブリック・コメント意見番号22による修正 〔意見内容〕 数値目標5について 数値目標5「図書館サポーターの地域での読み聞かせ活動の充実」は、①読み聞かせサポーター人数の増と、②図書館以外にも地域で読み聞かせを行いたいサポーターの割合の増の2種類があります。このうち、②「読み聞かせを行いたい」は、表現が主観的です。読み聞かせの実践につながらなければ、サービスの受け手にとっては何も変わらない。数値目標を設定するのであれば、「新宿区立図書館以外で読み聞かせを行っているサポーターの人数」としてはどうか。	◆修正前 図書館以外にも地域で読み聞かせを行いたいサポーターの割合 48.4%→51.0%	◆修正後 区立図書館以外の場所で読み聞かせを行ったことのある図書館サポーター人数 18人 → 30人
52	概要版	裏面	裏面	◆パブリック・コメント意見番号23による修正 〔意見内容〕 数値目標5について 数値目標5で、読み聞かせを行いたいサポーターの「割合」を数値目標にするのは、適当かどうか。 つまり、母体となる図書館ボランティアの総人数やアンケート回収率にも左右されるので図書館以外での読み聞かせの充実度を正確に表していない、と考えます。	◆修正前 図書館以外にも地域で読み聞かせを行いたいサポーターの割合 48.4%→51.0%	◆修正後 区立図書館以外の場所で読み聞かせを行ったことのある図書館サポーター人数 18人 → 30人